

第37回ユネスコ総会
上野文部科学大臣政務官
ESD世界会議PR閣僚級朝食会スピーチ（仮訳）
（2013年11月8日（金）8:00-9:30 ユネスコ本部）

（冒頭）

ボコバ・ユネスコ事務局長、
御出席の大臣の皆様、

おはようございます。日本の文部科学大臣政務官の上野通子です。
現在、日本では、内閣の最重要課題として、我が国の「教育再生」について国会で議論がなされております。このため、下村文部科学大臣はユネスコ総会出席を熱望されながらも欠席せざるを得ませんでしたので、今回、私が日本政府代表として出席いたしました。

さて、来年11月に我が国で開催される「ESDに関するユネスコ世界会議」まで丁度あと1年となりました。本日、世界でも特にESDを積極的に推進されてきた国々の大臣の皆様方にお集まりいただいたこと、また、このような機会を設けてくださったボコバ事務局長を始めユネスコ事務局に心から感謝いたします。ホスト国の政府代表として、来年の世界会議及び我が国のESDの取組について話ができることを大変光栄に思います。

（日本にとってESDがいかに大事か）

「国連持続可能な開発のための教育の10年（DESD）」は、2002年のヨハネスブルクサミットにおいて当時の小泉総理が提唱し、第57回国連総会で決議されたものです。それ以降、ESDの国際的な普及促進のために「日本政府信託基金」を拠出するなど、これまでESDを推進してきたところです。現在では、世界各地でESDの取組が広がっていることを大変嬉しく思います。

日本国内においても、DESDの国内実施計画に基づき、ESDを積極的に推進してきました。中でも、学校教育においては、政府が策定する教育計画（教育振興基本計画）及びカリキュラムを編成する際の基準（学習指導要領）にESDの理念を盛り込みました。

ESDの視点に立った学習指導では、「持続可能な社会づくりに関わる課題を見だし、それらを解決するために必要な能力や態度を身につける」ことを目標にしています。そのため、批判的に考える力、未来像を予想して計画を立てる

力、コミュニケーションを行う力、つながりを尊重する態度、進んで参加する態度を重視しています。これら全ては、子どもたちに欠かせない態度・能力です。

（ユネスコスクールについて）

我が国では、ユネスコスクールをESDの推進拠点として取組を進めています。その数は2005年19校から2013年10月現在647校にまで増加しているところです。その中でも、2011年3月11日に発生した東日本大震災により甚大な被害を受けた宮城県気仙沼市におけるユネスコスクールの「防災教育」の事例を紹介します。同市では、地震・津波等が発生したらどのように行動すべきか各学校で繰り返し訓練等を行っていました。その結果、市内の殆どの子供達が避難し、命が助かっただけでなく、ある中学校の生徒達は、避難してきた地域住民のお世話を自発的に行い、人手が足りない避難所で大活躍したと聞いています。これは、「自ら考え行動する」ESDの理念を実践したケースであると言えます。

（世界の潮流からみて、ESDがいかに大事か）

世界を見渡してみると、気候変動、自然災害、人口増加、貧困、紛争、エネルギー問題、生物の絶滅等難問が山積しているように見えます。このように未来の予測が不可能な時代だからこそ、ESDが、今後ますます重要になってくるのではないのでしょうか。

（ESDに関するユネスコ世界会議がいかに大事か）

私自身、ESDの理念に強く共鳴しています。ESDに関するユネスコ世界会議は、単にESDのことを議論する会議ではなく、ESDをテーマとして、これからの世界の教育の在り方を考える重要な場です。これまでの取組を振り返るとともに今後のESDの推進方策を議論する重要な機会でもあります。2014年はDESDの最終年になりますが、ESDの更なる発展が始まる最初の年とも言えます。ESDを精力的に推進しておられる国の皆様方も本会議に出席し、これからの持続可能な社会を担う人材を育む方策を一緒に議論しようではありませんか。

（むすび）

皆様、御存知のとおり、現在、ポスト2015年開発アジェンダの議論が、国連、ユネスコを始めとした国際機関等で活発に行なわれています。それらの議論でも、持続可能な開発（SD）、教育の質の向上、文化・宗教を超えた人々の共生が不可欠な要素であるとされており、ESDは、これらの要素の達成

に資するものであり、今後の教育の方向性に合致する重要な理念です。

今後、どれだけESDの実践を広げることが出来るか、皆様方の積極的な参画にかかっています。また、ユネスコがESDの更なる推進に向けて、より一層リーダーシップを発揮することも期待しています。是非一緒に世界会議に向けてESDを盛り上げていきましょう。

来年11月に愛知県名古屋市で、皆様と再会できることを心より楽しみにしています。

御清聴ありがとうございました。

(了)